

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長様

報告者氏名 増田 誠宏

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 掛田 勝彦

経理責任者氏名 増田 誠宏

期 間	令和5年7月13日（木）
用 務 先	東広島芸術文化ホール くらら 東広島市西条栄町7-19
用 務	研修会「住民起点の議会を作ろう」
概要及び所見 (目的、参考にすべき事項、提言、活用策等)	<p>【応対者】 LM推進ネットワーク九州 代表</p> <p>【概要】</p> <p>●地方議会は機能しているのか。 「政策提案・立案機能」が發揮されているのか。 条例制定において首長提案は3000。議会・議員提案は96である。 「行政のチェック機能」はどうあるか。 98.8%は首長提案をそのまま可決しており、議会により修正可決は0.4%のみである。(2019年全国議長会調べ)</p> <p>●地方議会が地方政治の中で「役割を果たしていない」との回答が約6割（言論NPO） どんな議会がいい議会なのか。チーム議会はなぜ必要なのか。 議会のミッションが想像できない現状であり、議会が活発で機能していく、自治体にとって望ましい状態というはどういうことなのかを考えていく必要がある。政策のチェックや政策の提案・立案をしていくことであるとは言えても、具体像は浮かばない。合議制の代表機関がなぜ必ず必要なのかといふことであるが、公開の場での議論なき意思決定は民主主義ではないともいえる。</p>

●議会の存在意義は

議会は、合議制代表機関ならではの役割があり、複数の視点で討議ができる。1人の視点から見るより、多角的で深い論点が見えてくる。議会の報道機能として、討議を通して論点が社会に伝えることが出来る。「民意」は選挙時だけのものだけではなく、議会の論議が伝わることによって世論が形成される。その民意に耳を傾けながら、結論を出すことができるから本当の民主主義であり、これこそが議会の存在意義である。

●地方議会・議員の役割

改正地方自治法により、地方議会・議員の仕事がより明確になり、地方議会の役割や議員の心構えを明確化した。改正法には「地方自治体の重要な意思決定を議決する」と規定されており、議員も「住民の負託を受け、誠実にその職務を行わなければならない」と定められている。

【所見】

なぜ議会改革が進まないのかと言われると、住民がいないからだと考える。多くの住民に議会へ傍聴に来てもらう。そのことが議会運営に緊張感を持たせることとなる。そのためには議会として、広報広聴を実効的に進めていくことは大切である。無関心や諦め感は選挙で変わってくる。例えば、住民が傍聴しやすいように休日や夜間の議会などを実験的にやってみることにより、住民を味方し関心を高める必要がある。また、若い人、小・中学生を巻き込むことにより親も参加する。

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長様

報告者氏名 徳岡真紀

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 掛田 勝彦経理責任者氏名 増田 誠宏

期 間	2023年 7月13日（木）
用 務 先	東広島芸術文化ホール くらら
用 務	研修会「住民起点の議会を作ろう」
概要及び所見 (目的、参考に)	<p>LM推進ネットワーク九州 代表 神吉信之氏</p> <p>●団体の活用内容</p> <p>地方政治・行政の活性化を目指し、市民の選挙への関心を高めるとともに、分権時代の有能なリーダーを選出できるマニュフェスト型選挙の普及とマニュフェストサイクルによる行革を推進させるためのサポートを行う</p> <p>●研修会概要</p>
すべき事項、機 会言、活用策等)	<p>チーム議会を作る必要性、議会改革は住民福祉向上の成果に結びつく必要がある。そのためには住民が議会に参加できる仕組みが必要である。</p> <p>例えば、議会報告会等でいただいた住民の声を政策提言や条例案などにつなげていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方議会は機能しているか？ <p>政策提案・立案機能が發揮されている議会はまだまだ少なく、議会が執行部の追認機関と言われてもおかしくない状況がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方議会が地方政治の中で役割を果たしていく中で、どのような議会が機能していると言えるのか？ ・ 議会は民意に耳を傾けながら多角的な視点で議論ができることに存在意義があるが現状は多数派が与党のような存在になっている議会が多い。 <p>●初見</p> <p>まだまだ住民には議会の存在意義が薄い。</p> <p>オール議会として住民の福祉に貢献するためには、住民がいかに議会に参加</p>

してもらえるかがポイントというお話を非常に共感する。可児市のように議長を中心に議長マニフェストに沿って議会改革をしていくという手法は興味深かった。議員個人の活動や一般質問はある程度見えるが、議会がどのような議論や活動を行っているかは非常に見えにくい。

そのため広報公聴の機能強化はこれからさらに重要になってくる。まずは広報紙等で高校生モニターを活用したり、記事として市民参加型のものを作ったり、さらには市民の声からの政策立案、条例提案など行っていき、暮らしに身近な議会に取り組んでいく必要があると感じた。